

## 令和5年度第2回大船渡市環境審議会 議事録

### 1 開催日時及び場所

- (1) 日時 令和6年1月24日(水) 午後2時から午後2時40分
- (2) 場所 大船渡市役所 議員控室

### 2 委員の現在数 19人

### 3 出席者

- (1) 委員 13人

本多サト子〔岩手県環境アドバイザー〕

山田 亨〔林野庁東北森林管理局三陸中部森林管理署 署長〕

佐々木武〔国土交通省東北地方整備局釜石港湾事務所 副所長〕

中田浩一〔岩手県沿岸広域振興局保健福祉環境部大船渡保健福祉環境センター 所長〕

木下正弘〔大船渡市公衆衛生組合連合会 副会長〕

武田暁子〔大船渡市地域婦人団体連絡協議会 副会長〕

船砥秀市〔大船渡市水産振興連絡会 会長〕

伊藤 陽〔盛川漁業協同組合 副組合長〕

大和田未紗〔大船渡市農業協同組合 総務課主任〕

伊藤淳子〔大船渡商工会議所 企画総務部課長〕

船越康宏〔太平洋セメント株式会社大船渡工場 製造部長代理〕

山崎 周〔岩手県食品衛生協会大船渡支会 指導員〕

金野玲子〔大船渡市食生活改善推進員団体連絡協議会 副会長〕

- (2) 事務局 5人

大船渡市

市民生活部長 新沼徹

市民環境課長 鈴木康代、同課課長補佐 金野道程、同課係長 米田大祐、

同課主事 牧野瞳

### 4 議事の経過(要旨)

#### 【会議成立要件報告】

米田係長から、委員19人中13人出席であり、委員の半数以上の出席があることから、会議が成立する旨を報告。

#### 【報告】

- (1) 大船渡湾水環境保全計画の改定について

原案に係る意見について、市を通じて県に伝えることとした。

質疑等は、以下のとおり。

- 質疑応答 -

[本多委員]

資料No.1-1の8ページの表8「大船渡湾のpHの環境基準達成率及び溶存酸素量、大腸菌群数、全窒素、全磷の年間平均値」について、大腸菌群数が平成27年度及び令和2年度に環境基準を大幅に上回っている。

説明では、一時的に環境基準を超過する年度はあるが、概ね環境基準を達成しているとのことだが、状況について伺いたい。

[米田係長]

本調査結果は、岩手県が毎月1回行っている公共用水域水質測定によるものであるが、気象条件等により、一時的に高い数値が測定されることがあると伺っている。

継続して高い数値が測定される場合は対策が必要となるが、その後の数値が環境基準を達成している場合は水質に影響はないと考えられることから、大腸菌群数については、良好な状態であると言える。

[本多委員]

資料No.1-1の15ページから汚水処理普及人口について記載があり、浄化槽による水洗化人口もあるが、市では浄化槽を設置する場合に助成は行っているか。

[鈴木課長]

市下水道事業所において、浄化槽の設置に係る助成を行っており、5人槽、7人槽等の規模により助成額が変わる。

浄化槽を設置する際は、下水道事業所に相談いただきたい。

[山田委員]

資料No.1-1の15ページに、大船渡湾への排出負荷の種類には生活系、産業系、面源系があるとされているが、それぞれの割合はわかるか。

[鈴木課長]

水質について様々な調査を行っているが、発生源別の負荷量の割合は把握していない。

生活系については、流し台に水切りネットを設置して細かいごみを取り除く等家庭での対策、産業系排水については、小規模事業場対策を強化する、面源系については、肥料を使いすぎないことや適切な森林整備を行う等、発生源別の対策を行うことが必要である。